

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により
通告します。

2023 年 2 月 14 日

議席番号 24 番

質 問 者 渡 辺 み の る

東村山市議会議長 あて

記

1. 第 2 期子ども・子育て支援事業計画について Ver. 2

2020 年から開始された「第 2 期子ども・子育て支援事業計画」は、計画期間の折り返しを迎えた。これまでの取り組みや実態をどのように評価し、次期計画や施策展開につなげていくのか。

昨年 9 月に、保育園を考える親の会が公表した「100 都市保育力充実度チェック 2022 年度版」に掲載されているデータも踏まえて、当市の保育施策のさらなる充実を求め、以下伺う。

(1) 待機児の状況

- ①2023 年度入所申し込みの 1 次判定の結果を新規申請者数・内定件数・保留件数について年齢別に伺う。
- ②1 次判定の結果について、新規申請者数・内定件数・保留件数を経年で伺う。
- ③きょうだい同一園を希望している人数を、新規・転園合わせて伺う。
- ④上記について見解を伺う。

(2) 保育園利用状況

- ①当市の保育園（保育所・認定こども園・地位型保育施設）の総定員数と利用人数を経年で伺う。
- ②前述の「保育力充実度チェック」を見ると、保育園の総定員数を上回る利用者がいるのは多摩地域で当市を含めて 2 市となっている。保育園の整備が足りていないのではないかと考えるが、見解を伺う。

(3) 多様な集団活動利用支援事業

今年度から、多様な集団活動利用支援事業が開始されたが、対象施設を利用している子どもの人数と、補助利用者数を伺う。

(4) 保育士の配置基準と処遇改善

- ①当市の保育士配置基準を年齢別に伺う。(加配を除く)
- ②障がい児及び要配慮児童対応の加配のほかに、独自に加配をしているケースがあれば伺う。
- ③当市の公立保育園における、定員数・保育士配置基準・実利用人数・保育士の配置人数を、園ごとに年齢別に伺う。
- ④前述の「保育力充実度チェック」によると、多摩地域で保育士配置における独自基準を設けていないのは、当市を含め 2 市のみとなっている。保育の質の向上のために、保育士配置基準の見直しが必要であることが指摘されている。国に対し配置基準の見直しを求めながら、市として独自に基準を設けるべきと考えるが、見解を伺う。

(5) 保育園の施設基準について

- ①当市の保育室の面積基準を伺う。
- ②前述の「保育力充実度チェック」によると、0 歳児の保育室面積を 5.0㎡とする独自基準を設けている自治体が多摩地域でも複数あり、保育室にホールを含めなくて基準を設定している例も見受けられる。当市の基準は、子どもの豊かな育ちのために十分な内容となっているのか。見解を伺う。

(6) 以上を総括して市長に伺う

- ①公表されている 2022 年 4 月時点での待機児は 7 人だが、希望する保育園を利用できていない現状がある。また、当市はきょうだいで同一園を希望しても加点措置は行っていない。「特定の保育施設を希望している」として待機児から除外された子どもは 151 人にのぼっている。まるでわがままであるかのように待機児から除外された 151 人の子どもの保護者に、市長はどのように向き合うつもりなのか。「子育てするなら東村山」というのであれば、希望する保育園を利用できる施設整備を進めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。
- ②保育士の配置基準や保育室の面積基準についても、当市は国基準通りで独自性がない。子どもたちの育ちや、保育士の負担軽減のために独自基準を設ける必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

以上